

令和6年 7月22日

川崎市議会議長 青木功雄様

川崎区在住者

ほか 5名

「NPO法人」の寄付金の開示を求める陳情

陳情の要旨

NPO法人である「教育活動総合サポートセンター」、並びに「かわさきスポーツドリーマーズ」の運営は、本市の子どもたちのために、とても有意義で必要不可欠な活動となっております。

しかし、市民にとって、市教育委員会と連携して活動している上記団体の活動費の実態について、詳細な開示がなされていないのは大変疑問で、不安に感じております。運営費の透明性、公平性から、予算書・決算書、並びに寄付金、賛助金、受託金等の中身について詳細な資料の開示を求めます。

陳情事項

- 1 「特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター」の予算、決算書、並びに寄付金、賛助金、受託金等の明細を明らかにすること。
- 2 「特定非営利活動法人かわさきスポーツドリーマーズ」の予算、決算書、並びに寄付金、賛助金、受託金等の明細を明らかにすること。

陳情の理由

「教育活動総合サポートセンター」は決算報告書と貸借対照表、「かわさきスポーツドリーマーズ」は貸借対照表しか開示されていない実態があります。市教育委員会からは補助金、助成金が上記のNPO団体には一切割り振られてお

りません。

「教育活動総合サポートセンター」は各学校の校長・教頭から5,000円から1万円の寄付金を半強制的に集めています。市教育委員会に補助金等を請求すべきであるが、どのようになっているのか全く知らされておりません。また、この寄付金は各学校へサポーターとして派遣されている人件費等に充てられておりますが、これを管理職に寄付金として求めるのは大きな問題であると考えております。

さらに、サポーターの人件費は1週間で最低3回派遣すると(1人1,000円×3回×3時間=9,000円)年間30週としても(9,000円×30週=27万円)が必要となります。小学校118校、中学校58校、合計176校となるため、(27万円×176校=4,752万円)、最低でも、サポーターの人件費として年間4,700万円以上は必要となります。このNPO団体は校長会のOBが仕切っておりますが、寄付金だけでは到底賄えないのは明らかです。

特に、活動計算書の2. 正会員受取会費、3. 受取寄付金、受取賛助金、4. 事業収益の受取受託金、受取補助金、5. 雑所得の明細の開示を求めます。

「かわさきスポーツドリーマーズ」については、元小学校の体育常任委員会出身の校長が役員を占めております。このNPO団体は設立当時から多くの資金が入っております。受取寄付金、受取助成金、受取補助金、事業収益金等についての資金がいつ、誰から、どのように集められたのか、原資はどうなっているのかは開示されておりません。

市民として、子どもたちの活動を支援しているNPO法人の教育関係団体の運営状況をきちんと把握しておくことは、とても重要なことであると考えております。不明のままでは、将来を担う子どもたちを預けること、育てていただくことに大きな不安を抱えております。明確な御回答をよろしく願いいたします。